

## NY マーケットレポート (2016年3月10日)

海外市場では、注目されたECB理事会で、3つの政策金利全てが引き下げられたことや、資産購入額を600億ユーロから800億ユーロに引き上げるなど、大規模な追加金融緩和策が発表されたことを受けて、ユーロが主要通貨に対して大きく下落する動きとなった。しかし、その後ドラギ ECB 総裁が、定例会見で「一段の利下げが必要だとは考えていない」と発言したことを受けて、ユーロが一転して大きく反発する動きとなった。また、原油価格や株価が下落に転じたことから、投資家がリスク回避姿勢を強め、相対的に安全とされる円を買い戻す動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。終盤には株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円もやや値を戻す動きとなった。

### 2016/3/10 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	113.60	113.81	113.16
EUR/JPY	124.58	124.92	124.33
GBP/JPY	161.31	161.59	160.74
AUD/JPY	84.83	85.14	84.48
EUR/USD	1.0969	1.1004	1.0963

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	114.18	113.37
EUR/JPY	124.85	123.65
GBP/JPY	161.71	160.90
AUD/JPY	85.51	84.68
EUR/USD	1.0990	1.0843

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16852.35	+210.15
ハンセン指数	19984.42	-11.84
上海総合	2804.73	-57.83
韓国総合指数	1969.33	+16.38
豪ASX200	5150.07	-7.12
インドSENSEX指数	24623.34	-170.62
シンガポールST指数	2809.12	-1.31

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6036.70	-109.62
仏CAC40	4350.35	-75.30
独DAX	9498.15	-224.94
ST欧州600	333.50	-5.64
西IBEX35指数	8766.90	+5.80
伊FTSE MIB指数	18118.23	-90.69
南ア 全株指数	51533.78	+49.32

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	113.14	114.45	112.63
EUR/JPY	126.49	126.77	123.73
GBP/JPY	161.59	162.89	161.00
AUD/JPY	84.32	85.62	83.72
NZD/JPY	75.41	76.31	75.01
EUR/USD	1.1182	1.1218	1.0823
AUD/USD	0.7454	0.7512	0.7427

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16995.13	-5.23
S&P500	1989.57	+0.31
NASDAQ	4662.16	-12.22
日経225 (CME)	16545	-115
🇨🇦 トロント総合	13379.14	-13.76
🇧🇷 ボルサ指数	44337.04	-155.46
🇧🇷 ボベスバ指数	49571.11	+906.02

#### 3/11 経済指標スケジュール

08:50	【日本】1Q景況判断BSI
16:00	【ドイツ】2月消費者物価指数
16:00	【ドイツ】2月卸売物価指数
18:30	【英国】1月商品貿易収支
20:20	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
22:30	【米国】2月輸入物価指数
22:30	【カナダ】2月失業率
22:30	【カナダ】2月労働参加率
22:30	【カナダ】2月雇用ネット変化率
23:00	【メキシコ】1月鉱工業生産

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1272.80	+15.40
NY 原油	37.84	-0.45
CMEコーン	362.75	+3.25
CBOT 大豆	889.25	+3.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.93%	0.89%
3年債	1.12%	1.07%
5年債	1.45%	1.39%
7年債	1.75%	1.69%
10年債	1.93%	1.88%
30年債	2.69%	2.67%

#### 3/11 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:SBILM)

**NY 市場レポート**

欧州タイム

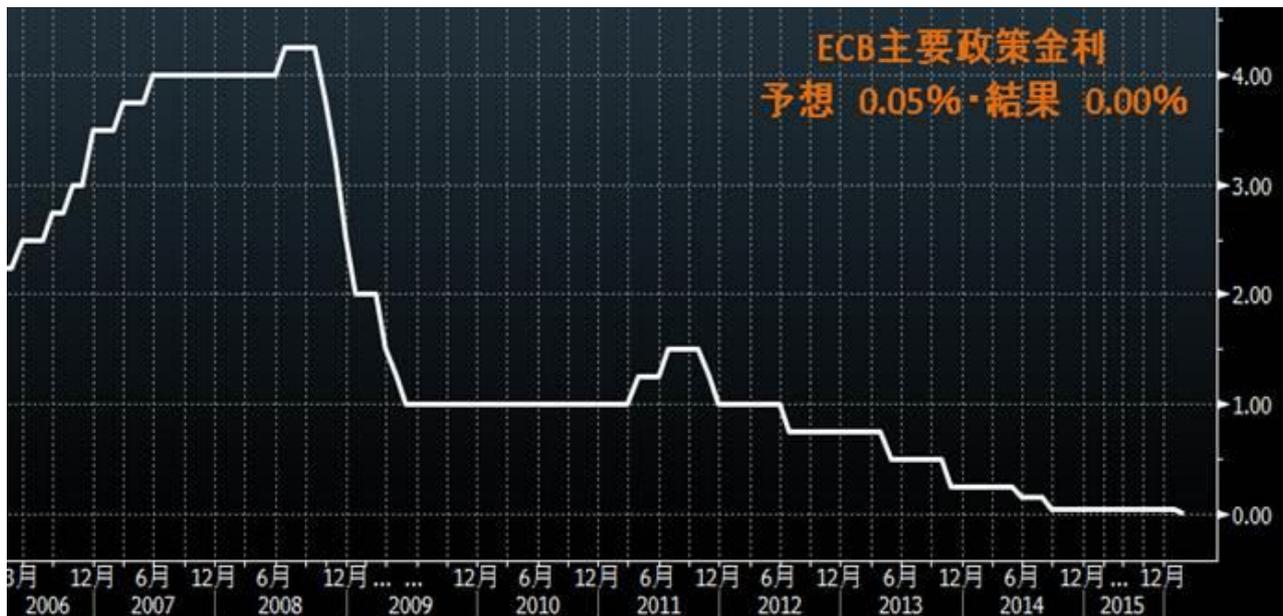
21 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

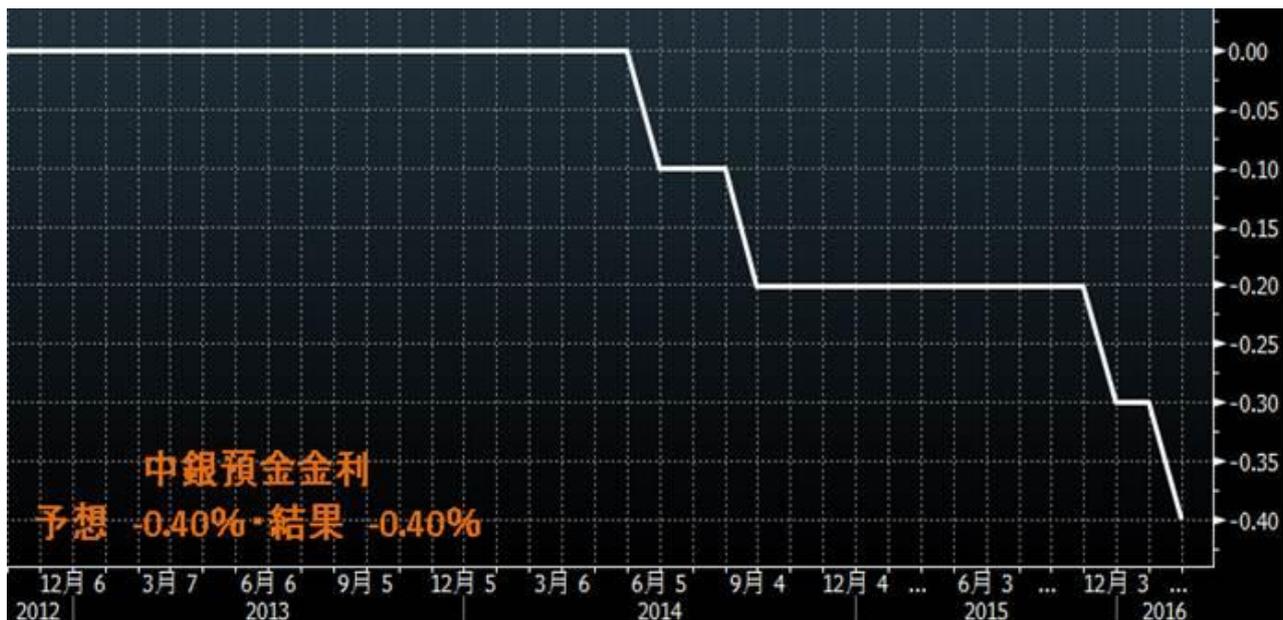
ECB 主要政策金利 0.00% (予想 0.05%・前回 0.05%)

中銀預金金利 -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.30%)

限界貸出金利 0.25% (予想 0.30%・前回 0.30%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

## 《ポイント》

### ECB（欧州中央銀行）の定例政策委員会で決定事項

- (1) 主要政策金利のリファイナンスオペの最低応札金利は 0.05 ポイント引き下げ 0.00%。
- (2) 限界貸出金利も 0.05 ポイント引き下げ 0.25%。
- (3) 中銀預金金利は 0.10 ポイント引き下げ -0.40%。
- (4) 資産購入プログラムでの月間購入額を 4 月から 600 億ユーロから 800 億ユーロに拡大
- (5) ユーロ圏を拠点とする銀行以外の企業が発行した投資適格級のユーロ建て社債を購入対象資産に加える
- (6) 条件付き長期リファイナンスオペの新たなシリーズとなる TLTRO2 を 6 月から 4 回実施する。  
期間はそれぞれ 4 年。借り手のコストは中銀預金金利と同水準までの低下があり得る



(出所：ネットダニア)

22:00

ドル/円 114.16 ユーロ/円 123.80 ユーロ/ドル 1.0847

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6172.99	+26.67	ダウ 先物ミニ	17018	+104
仏 CAC40	4520.99	+95.34	S&P 500 ミニ	1996.25	+16.50
独 DAX	9910.59	+187.50	NASDAQ 100 ミニ	4327.75	+42.25

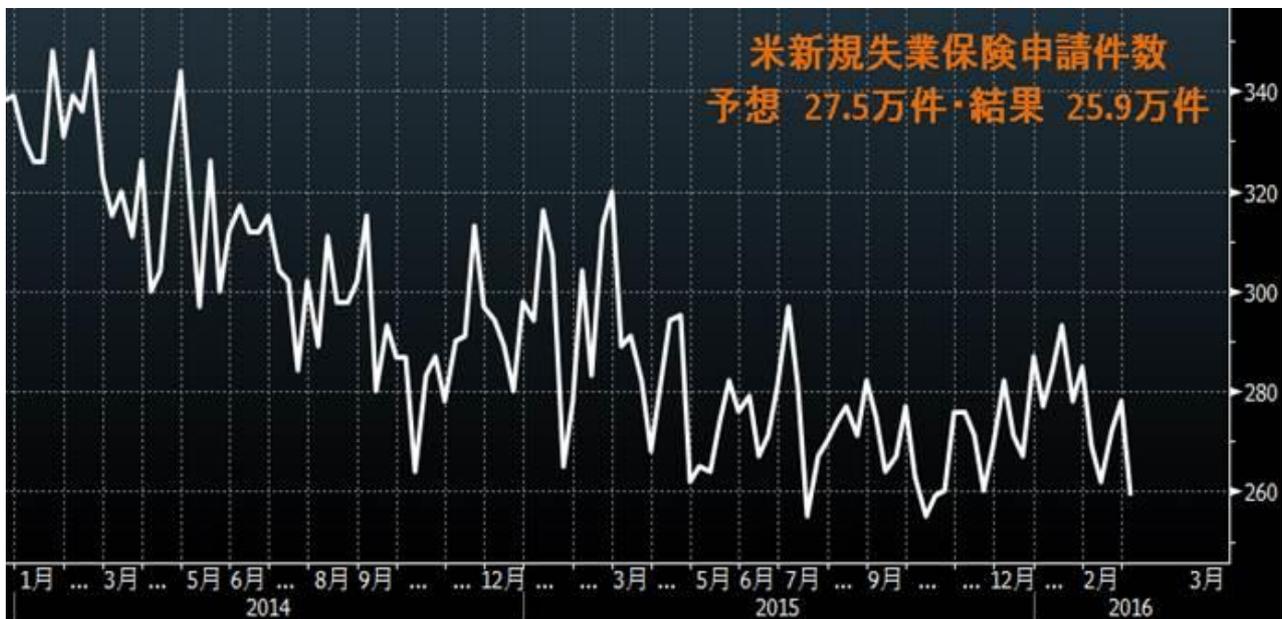
(出所:SBILM)

22:30

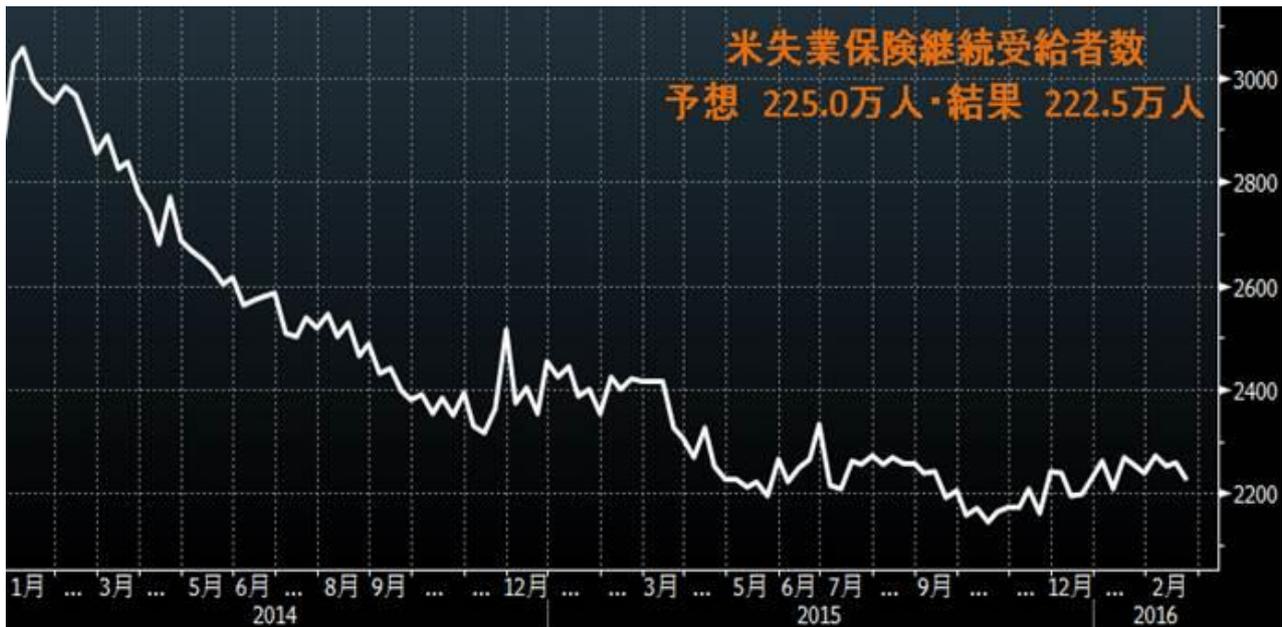
◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 25.9万件 (予想 27.5万件・前回 27.7万件)  
 前回発表の27.8万件から27.7万件に修正

米失業保険継続受給者数 222.5万人 (予想 225.0万人・前回 225.7万人)



(出所:ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

**経済指標データ**

**《新規失業保険申請件数・継続受給者数》**

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/03/05	259,000	-18,000	267,500	*****	*****
16/02/27	277,000	5,000	270,000	2,225,000	1.6%
16/02/20	272,000	10,000	272,000	2,257,000	1.7%
16/02/13	262,000	-7,000	273,250	2,254,000	1.7%
16/02/06	269,000	-16,000	281,250	2,272,000	1.7%
16/01/30	285,000	+8,000	284,750	2,243,000	1.6%
16/01/23	277,000	-17,000	282,750	2,260,000	1.7%
16/01/16	294,000	+11,000	285,250	2,274,000	1.7%
16/01/09	283,000	+6,000	278,500	2,219,000	1.6%
16/01/02	277,000	-10,000	275,750	2,264,000	1.7%

受給者数は集計が1週間遅れる

22 : 30

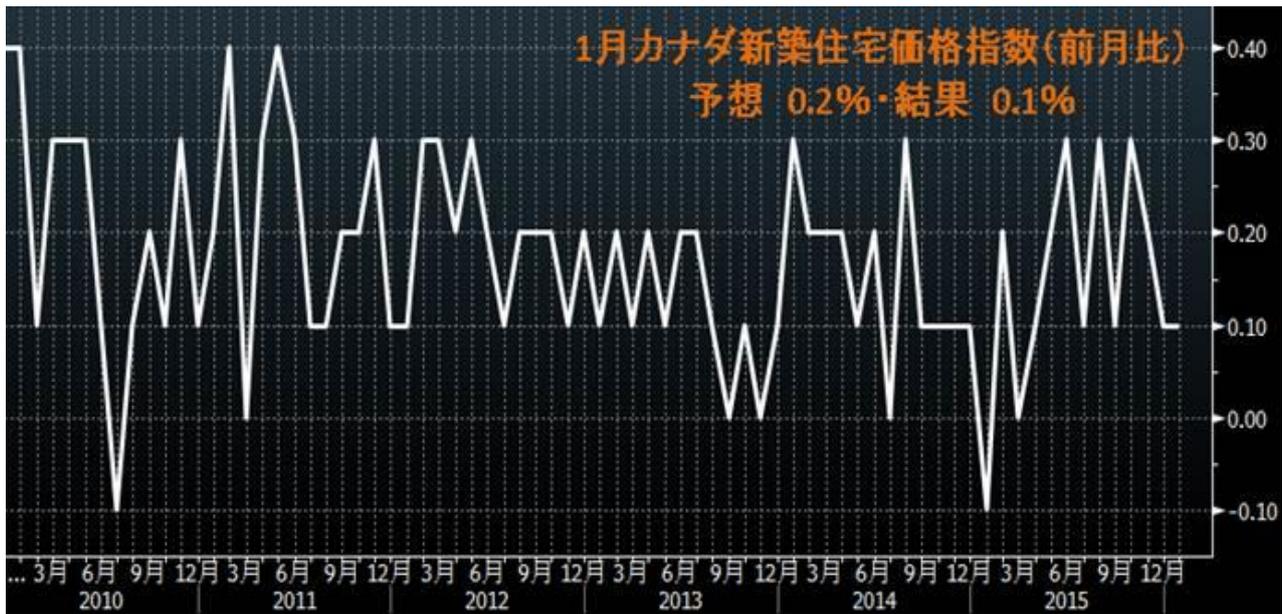
**《 経済指標の結果 》**

1月カナダ新築住宅価格指数 (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.1%)

1月カナダ新築住宅価格指数 (前年比) 1.8% (予想 1.8%・前回 1.6%)

4Qカナダ設備稼働率 81.1% (予想 81.7%・前回 81.6%)

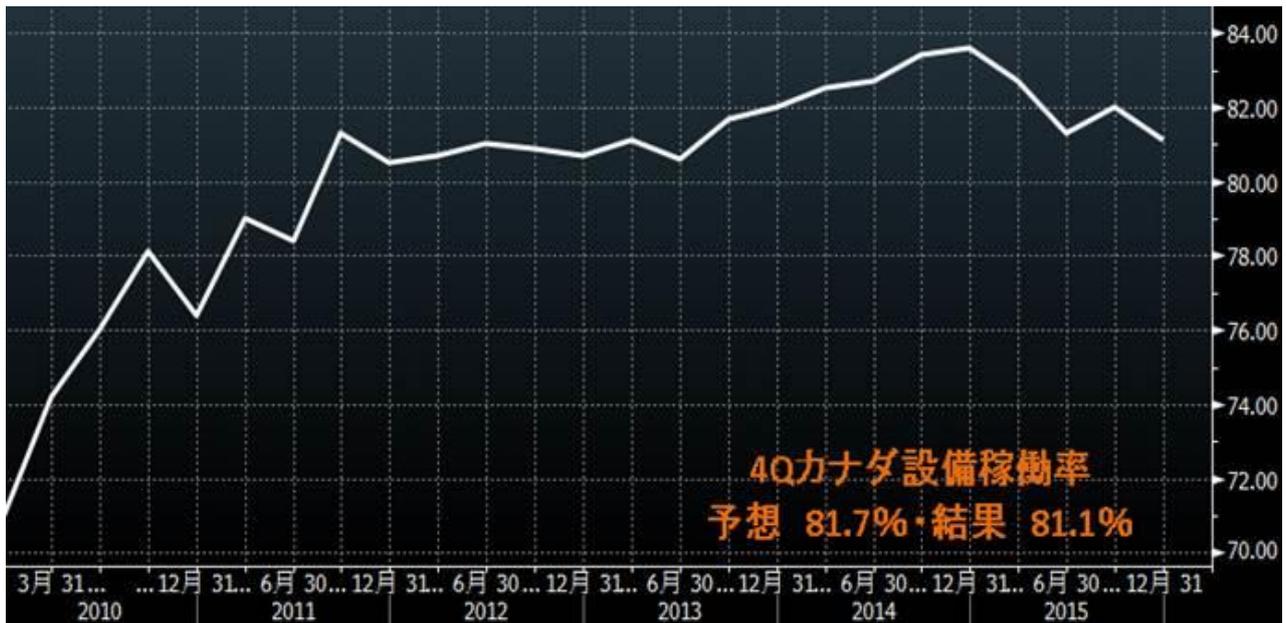
前回発表の82.0%から81.6%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22:40

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「資産買入れは 2017 年 3 月まで継続、必要なら延長」
- ・「資産買入れはインフレ率が目標に向け継続的に上昇するまで実施」
- ・「発行体・銘柄あたりの買入れ限度を引き上げ、一部のエージェンシー債が対象」
- ・「社債買入は第 2 四半期末に向けて開始」
- ・「TLTRO 金利は中銀預金金利と同水準での実施も可能」
- ・「金利は現行かそれ以下の水準でかなりの期間とどまる見込み」
- ・「資産買入終了後も低金利は続く」
- ・「物価安定目標へのリスク高まった、インフレ見通しの動向を非常に注意深く監視」
- ・「調査データは成長モメンタムが予想より弱いことを示す、景気回復は穏やかなペースに」
- ・「原油価格下落は家計・企業利益を支援」
- ・「新興国の成長低迷がユーロ圏の回復を阻害」
- ・「成長率見直し引き下げは世界経済見通しの悪化を反映、リスクは下向き」
- ・「インフレ率は今後数カ月マイナスで推移しその後上向くと予想」
- ・「価格決定動向と賃金トレンドを注意深くみる、波及効果も注視」
- ・「ユーロ圏の大半の国で改革への取り組みを強化すべき」
- ・「ユーロ圏の貸し出しの伸びは依然弱い」
- ・「一段の利下げが必要になるとは予想せず、新たな事実で状況が変わる可能性」
- ・「マイナス金利階層化の見送り、ECB が望む程度まで金利が下がるとのシグナルを送らない」
- ・「銀行収益はマイナス金利で打撃受けず」

ECBスタッフ予想

- ・「2016 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.4% (12 月予想 1.7%)」
- ・「2017 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.7% (12 月予想 1.9%)」
- ・「2018 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.8%」

- ・「2016年のユーロ圏インフレ率見通しは0.1%（12月予想1.0%）」
- ・「2017年のユーロ圏インフレ率見通しは1.3%（12月予想1.6%）」
- ・「2018年のユーロ圏インフレ率見通しは1.6%」

23:10

◀ 要人発言 ▶

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「他の非伝統的措置に重点がシフトする見込み」
- ・「TLTROの期間と金利の間に関連はない」
- ・「金利階層化、複雑なことも見送り要因」
- ・「今回の決定は圧倒的過半数が賛同」
- ・「手持ちの弾が不足しているわけではない」
- ・「財政スタンスは緩やかに拡張的」
- ・「世界的な金利引き下げ競争はしていない」
- ・「ヘリコプターマネーについては討議しなかった」
- ・「リファイナンス金利のマイナス化は討議していない」
- ・「政策措置の一部は為替市場への波及あり得る」



(出所：ネットダニア)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17058.78	+58.42
ナスダック	4695.84	+21.46

(出所: SBILM)

0 : 45

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、ECB がマイナス金利拡大を柱とした追加金融緩和を好感し、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、その後は上げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 129 ドル高まで上昇したが、その後はやや軟調な動きとなった。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米失業保険申請件数は、市場予想の 27.5 万件を下回る 25.9 万件となり、3 週ぶりに減少となった。昨年 10 月 17 日までの週以来の低水準となり、減少幅では昨年 7 月 18 日までの週以来の大きさとなった。申請件数は、昨年 3 月以降、30 万人を下回って推移している。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-2500 人の 26 万 7500 人。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-3.2 万人の 222.5 万人と 2 週ぶりのマイナスとなった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-4500 人減の 225.2 万人。そして、受給者比率は、前週比 0.1 ポイント低下の 1.6% だった。

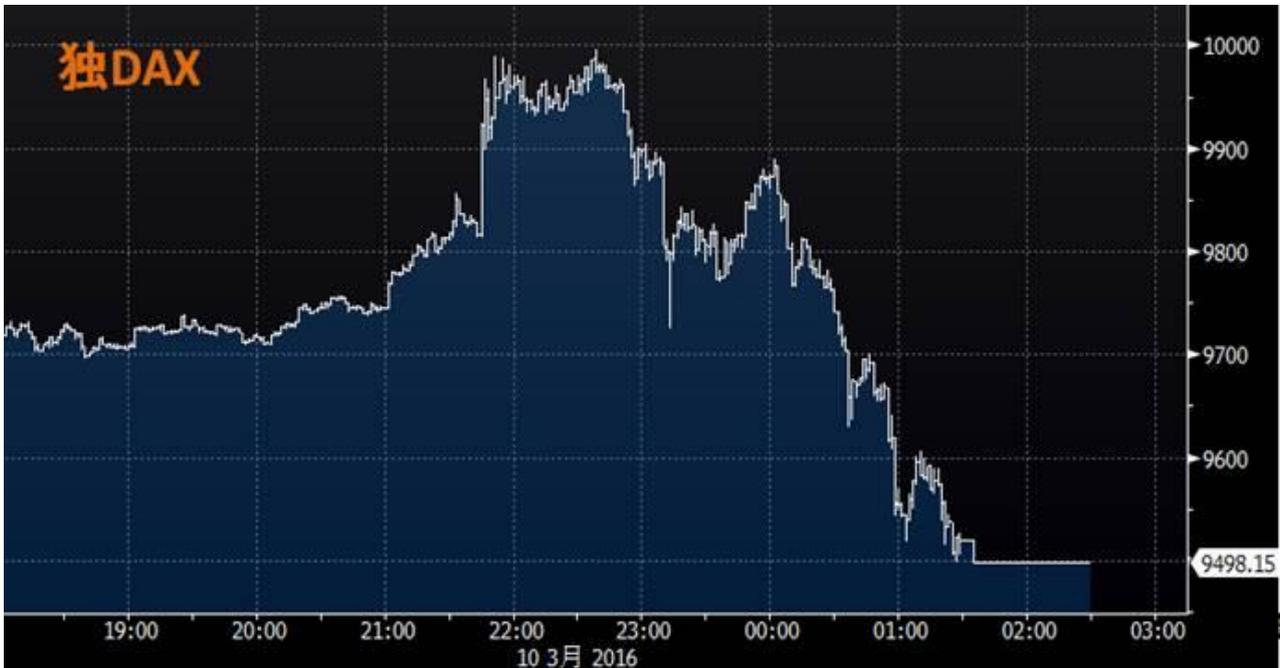
(2) 10-12 月期の米資金循環統計では、家計部門の債務は、年率換算で前期比 3.4% となり、17 四半期連続のプラスとなった。住宅ローン、消費者信用とも増加した。家計部門の債務は、経済回復による消費活性化に伴って拡大が続いている。住宅ローンは+1.5% と 2 四半期連続で伸びが縮小した。消費者信用は+5.9% で、22 四半期連続のプラスだった。金融を除く企業部門債務は+5.0% で 20 四半期連続のプラス。金融部門の債務は+1.3% と 3 四半期連続のプラスだった。政府部門では、連邦政府が 18.5% と 2010 年 4-6 月期以来の高い伸びとなった。家計部門が保有する住宅と株式などの資産から、住宅ローンやクレジットカードによる借り入れなどの債務を差し引いた純資産は、前期比+1.9% の 86 兆 7960 億ドル。住宅ローンと消費者信用の増加で債務は増えたが、保有不動産の額が価格上昇で大きく増加。株式も増えており、資産の伸びが上回った。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6036.70	-109.62
仏 CAC40	4350.35	-75.30
独 DAX	9498.15	-224.94
ストック欧州 600 指数	333.50	-5.64
ユーロファースト 300 指数	1311.74	-23.66
スペイン IBEX35 指数	8766.90	+5.80
イタリア FTSE MIB 指数	18118.23	-90.69
南ア アフリカ全株指数	51533.78	+49.32

(出所: SBILM)

## 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ECB の追加緩和発表で一時買われたが、その後ドラギ ECB 総裁が追加利下げは不要との認識を示したことを嫌気して、主要株価は急反落した。



(出所：ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16938.59 (-61.77)、S&P500 1982.06 (+7.20) ナスダック 4657.10 (-17.28)

## 《欧州のポイント》

①ノルウェー統計局は、2016年のエネルギー・海運部門を除いた本土の経済成長率見通しを1.4%とし、昨年12月に示した2.0%から下方修正した。また2017年見通しを2.3%と、従来の2.6%から引き下げた。2018年見通しは2.4%とした。従来は2.7%だった。統計局は声明で「景気後退は2016年末まで続くことが見込まれる」と指摘。これまでは年内に景気が回復するとの予想を示していた。

②ECB（欧州中央銀行）は、フランクフルトで定例理事会を開き、3つの政策金利を全て引き下げるとともに、資産購入額を月600億ユーロから800億ユーロに拡大した。主要政策金利であるリファイナンスオペの最低応札金利は、従来の0.05%から0.00%に、下限政策金利である中銀預金金利は-0.30%から-0.40%に、上限政策金利の限界貸出金利も0.30%から0.25%にそれぞれ引き下げた。また、量的緩和（QE）の月購入額は4月から800億ユーロ（約9兆9000億円）とし、社債も買い入れ対象に含めることも決定した。

## 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米30年物国債入札を前にポジション調整の売りが先行した。米失業保険申請件数が市場の予想以上に減少したことも売り材料となった。ECBが大規模な追加金融緩和を決め、ドイツなどの国債利回りが低下したため、相対的に利回りが高い米国債に資金が流入する場面もあったが、ECBのドラギ総裁が追加利下げの必要はないと述べたことをきっかけにドイツ国債の利回りが上昇すると、米国債にも売りが広がった。

午前の利回りは、30年債が<sup>※</sup>2.71%（前日 2.67%）、10年債が<sup>※</sup>1.94%（1.88%）、7年債が 1.75%（1.69%）、5年債が 1.45%（1.38%）、3年債が<sup>※</sup>1.13%（1.07%）、2年債が 0.93%（0.89%）。

3 : 00

《米財務省 30年債入札》

最高落札利回り・・・2.720%（前回 2.500%）  
 最低落札利回り・・・2.592%（前回 2.300%）  
 最高利回り落札比率・・・1.47%（前回 37.52%）  
 応札倍率・・・・・・・・・・2.33倍（前回 2.09倍）

4 : 30

NY金は、中心限月が前日比 15.40ドル高の1オンス=1272.80ドルで取引を終了した。

5 : 20

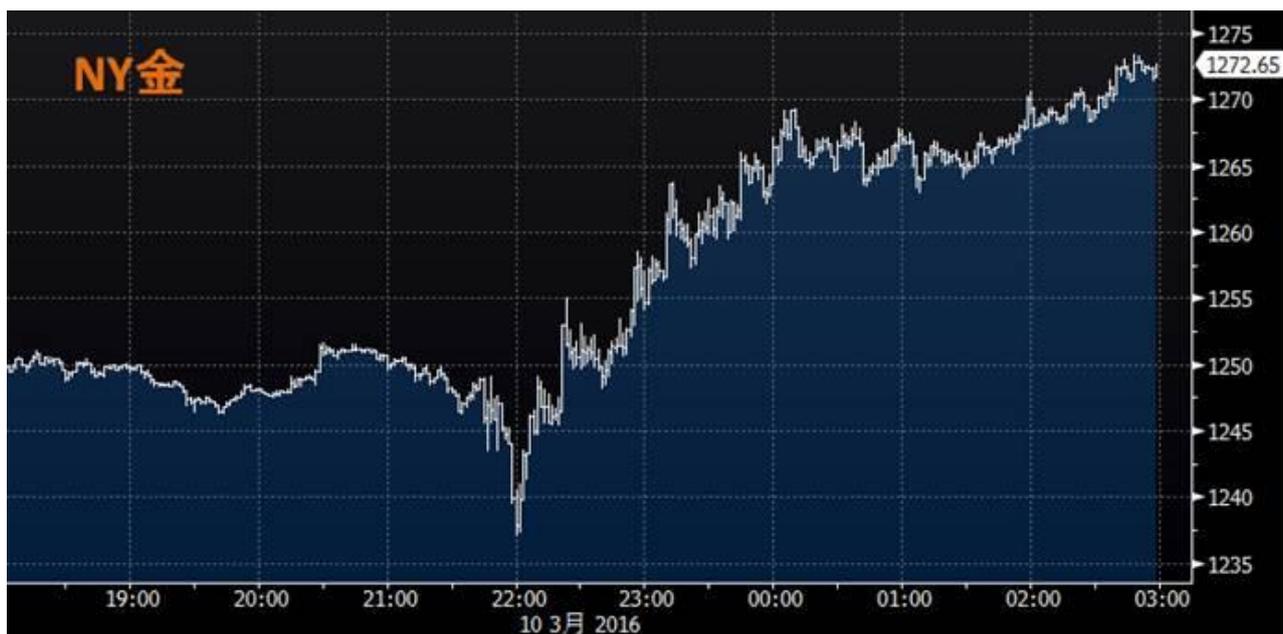
NY原油は、中心限月が前日比 0.45ドル安の1バレル=37.84ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1272.80	+15.40
NY 原油	37.84	-0.45

(出所: SBILM)

《 NY金市場 》

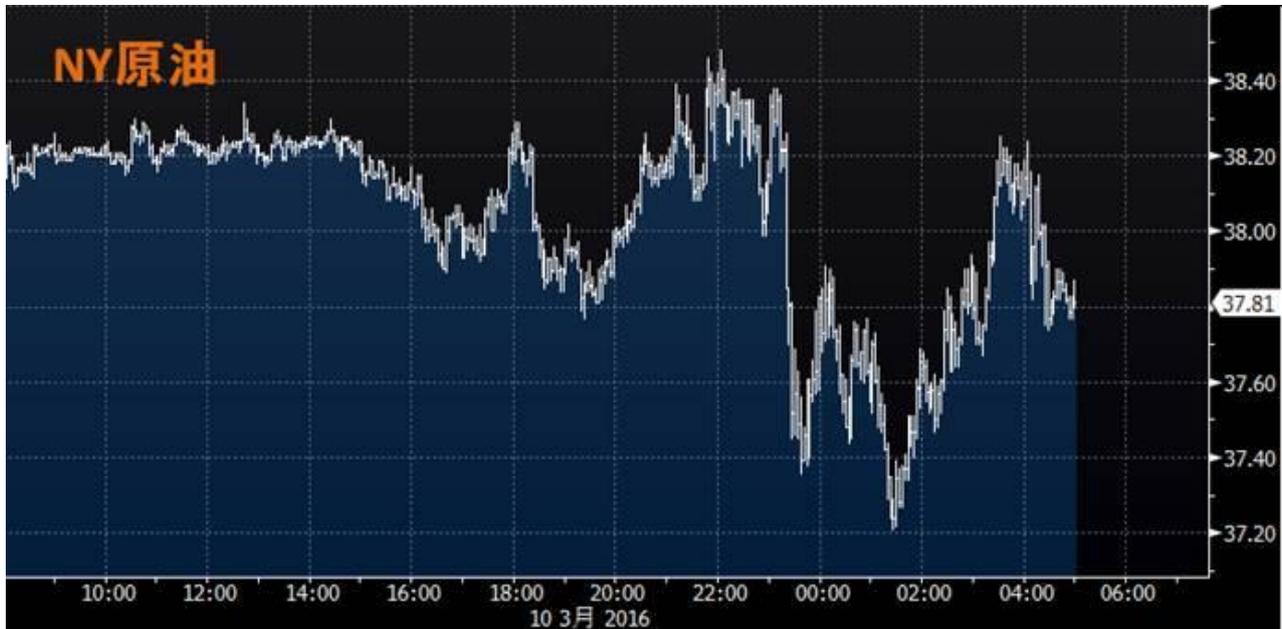
NY金は、ドラギ ECB 総裁が会見で追加利下げの必要はないとの認識を示したことから、ユーロが対ドルで大きく上昇し、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となった。終値ベースでは、昨年 2 月上旬以来、約 1 年 1 カ月ぶりの高値水準となった。



(出所: ブルームバーグ)

## ◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、主要産油国による増産凍結協議の会合が開かれぬ可能性があると報道を受けて、売りが優勢となった。ただ、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油の割安感が出たことから買い戻しもあった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16995.13	-5.23	17130.11	16821.86
S&P500 種	1989.57	+0.31	2005.08	1969.25
ナスダック	4662.16	-12.22	4716.14	4607.99

(出所：SBILM)

## ◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、ECB がマイナス金利拡大を柱とした追加金融緩和を好感し、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、その後は ECB 総裁が会見で、追加利下げは不要との認識を示したことを受けて、主要株価は軒並み下落となった。ただ、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなったが、その後は下落に転じ、一時 178 ドル安まで下げる場面もあった。ただ、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。



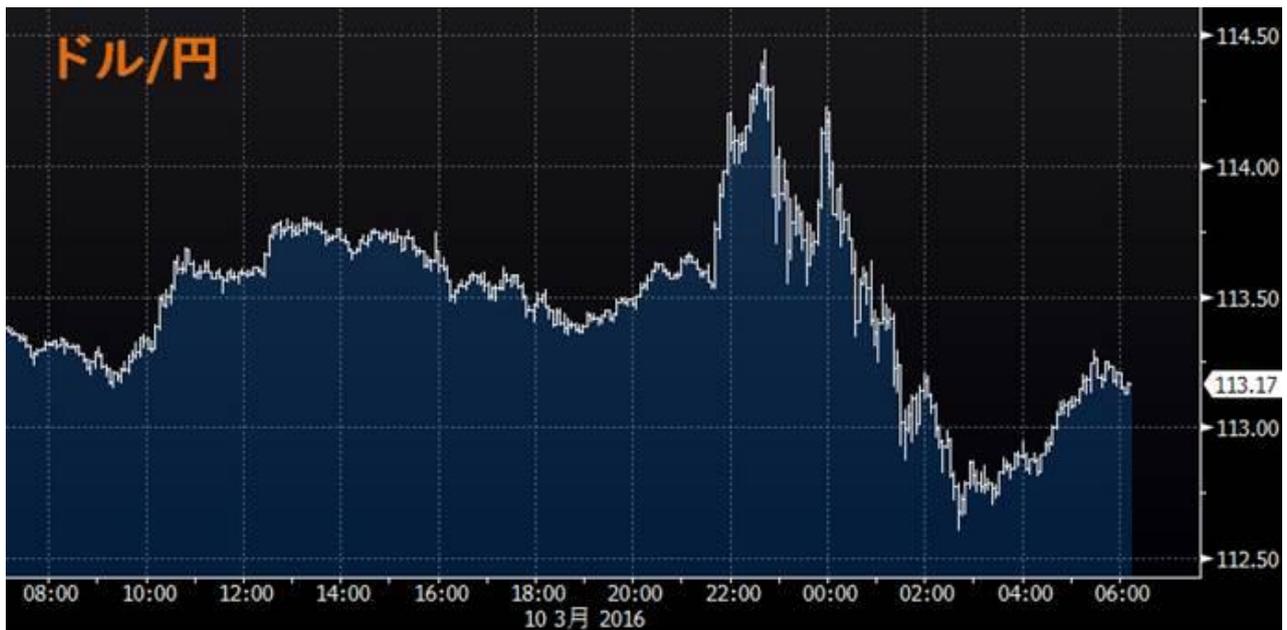
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	113.14	114.45	112.63
EUR/JPY	126.49	126.77	123.73
GBP/JPY	161.59	162.89	161.00
AUD/JPY	84.32	85.62	83.72
NZD/JPY	75.41	76.31	75.01
EUR/USD	1.1182	1.1218	1.0823
AUD/USD	0.7454	0.7512	0.7427

(出所：SBILM)

#### 《外国為替市場》

外国為替市場は、ECB が利下げを発表したことから、ユーロが主要通貨に対して下落する動きとなった。しかし、ECB 総裁が会見で追加利下げの可能性を否定したことを受けて、一転してユーロを買い戻す動きが優勢となった。ユーロは主要通貨に対して大きく上昇した。ただ、原油価格や株価が下落となったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。